

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	629	雇用、勤労者対策	会計	01	一般会計
			款	05	労働費
基本施策	46	地元で魅力的な雇用の場をつくる	項	01	労働費
			目	02	労働諸費
担当部課名	伊賀支所産業建設課		細目	102	雇用、勤労者対策
作成者氏名	高島 幸生	連絡先	細々目	01	雇用、勤労者対策
		45-9119			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	・柘植地区内の建築業者で構成される柘植建築組合	・柘植建築組合会員相互の建築技術及び安全対策等を研修することにより、技術の向上が図られる。
本年度事業内容	・余野公園にこいのぼりの設置・撤去 ・児童、生徒、園児が怪我をしないよう小中学校、保育園への修繕奉仕作業の実施 ・安全なまちづくりを建築に反映できるよう、会員を始め区長等をまじえた防災研修講演会の実施	
	平成 年度 終了年度	平成 年度 根拠法令・要綱等
		伊賀市補助金等交付規則

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	72	0	72
補助金	72	0	72
その他			
合計(A+B)	792	720	792
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	792	720	792
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
こいのぼり設置	回	1	1	1			
修繕奉仕作業	回	2	2	2			
防災研修会	回	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
柘植建築組合会員及び研修参加者の防災意識及び建築技術、安全意識の向上	事業目的が、建築技術の向上及び安全の向上となっており、目的に沿った研修の実施を指標とする。	人	70 目標 ()	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

柘植建築組合では、建築技術と安全の向上のため会員相互の研修と、住民を取り込んだ研修を行っている。また、景観に配慮したゴミ集積所等を設置する活動も行っている。研修に重点をおいた補助制度に移行する方向で考えなければならない。
--

評価	必要性	4	平成15年度まで80,000円の補助を行ってきたが、平成16年度より72,000円に減額をしている。建築組合では、従来からの活動を引き続き行っており本制度を引き続き実施したい。技術及び安全意識向上の研修の実施により後継者の育成と若手の定着が図られる。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		